

中川村新たな学校づくりシンポジウム

教育委員会では、新たな学校づくりに向け「小中学校を統合し、義務教育学校を新設する」とを基本方針と定め、令和5年度は地区説明会やグループワークなどを開催し、地域のみなさんと語り合いを重ねてきました。

2月17日(土)に中川文化センター(サブ会場「奏の森」【大きな玄関】)を会場に開催した「新たな学校づくりシンポジウム」では、新たな学校のコンセプト説明、講演会、パネルディスカッションなどを通して新たな学校について地域のみなさんと一緒に考える機会となりました。

片桐俊男教育長から、新たな学校づくりのこれまでの経過と、みなさんの意見から検討した、新たな学校のコンセプトを説明しました。

村が目指す新たな学校の姿を『美しい村・中川村を再発見』、自ら楽しみ、次世代につなげる『みんなの学校』とし、子どもだけでなく、地域の大人も関わりを持てる学校を全体のコンセプトとして掲げました。



片桐教育長

また、学校教育が目指す子どもの姿を「自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓する力を育む」とし、このことを実現するため「探究的に学ぶ」「ごちゃまぜに学ぶ」「中川村全体を学びの場としてグローバルに学ぶ」ことを教育の柱としていくことを説明しました。

講演

「地域と学校の連携・協働は 何を可能にするのか」

長野大学教授早坂淳氏を講師に講演会を行いました。

前半では、大きな視野で現実を把握するため「教育学から見た世界の変化」を、また後半では、足下を見据えて現実に対応するため「中川村にいる私たちの変化」をそれぞれのテーマとし、激変する社会のなかで新たな



講師 早坂淳さん

な学校や教育には何が必要か、また地域の大人が今するべきことは何かについてご講演をいただきました。

講演のなかでは、生成AI(人工知能)の急速な発達に伴い、社会や働き方、学び方が大きく変わることが予想されるなか、地域の大人が「探究」と「協働」により地域とともにある学校づくり、学校を核にした地域づくりの姿を見せることが、これからの子どもたちの教育につながるということを学びました。

パネルディスカッション

「新たな学校は こんな学校がいい！」

6人のパネリストのみなさんにご登壇され、それぞれのお立場から「新たな学校はこんな学校がいい！」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

パネリスト

【保護者の立場から】

池田 彩美さん

【子どもの立場から】

大島 五月さん(中学生)

傳宝 芽咲さん(中学生)

【地域の立場から】

福島 章さん

(民生委員会会長)

【学校の立場から】

松崎 善幸さん(西小学校長)

【長野大学教授】

早坂 淳さん



太島さん、傳宝さん

パネルディスカッションではメイン会場、サブ会場からも意見や質問があり、新たな学校について、参加されたみなさんで語り合う時間となりました。

新たな学校建設予定地

「現中学校敷地」

に決定

教育委員会では、新たな学校づくりの基本方針に沿い、今後の基本計画の策定に向けて、建設予定地を決定し学校施設や通学方法、地域との連携などについて検討していく必要があることから、「中川村新たな学校建設予定地検討委員会」を設置し、建設予定地の検討を進めてきました。

委員会では、現小中学校を含めた5か所を候補地として、敷地面積や通学距離、防災上の安全性などの観点から、現在の中学校敷地が最も適していると判断され、建設予定地として決定されました。村議会3月定例会で宮下健彦村長からも、このことが表明されました。

今後は、委員会で決定した建設予定地を基本に、新たな学校の基本計画策定に向け詳細検討を進めていきます。

教育委員会総務学校係

TEL 88-11005